

住民が主人公 いき生き元気 ながいきの村創り 石井としおあと一歩！



石井としお通信

長生村七井土1387-2 電話 090-3094-0321 部内討議資料 石井としお後援会発行

学校給食・自校方式に 圧倒的支持 74%!

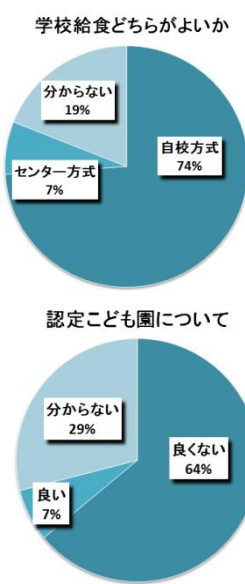
石井としお後援会が実施したアンケート調査の現在までの集計結果です
(総数は非公表)。

「自校方式が良い74%」で、「センター方式が良い」はわずか7%。圧倒的多数が「給食センター方式反対」の意思表示をしました。やはり親や祖父の立場から見れば、何かと問題のあるセンター方式の給食は子や孫には食べさせたくない、安心安全の自校方式の給食をと思うのは当然です。

石井としおはこのセンター方式導入には断固反対します。センター化は絶対にやめます。

「センターは白紙の状態」は「ごまかし!」(おだか陽一後援会だより6号)

村は、センター方式に移行するために今年度当初予算に277万円を計上し、4年間で総事業費6億4千万円をかける学校給食センター建設にスタートを切っています(年度ごとの詳細計画があり白紙ではありません)。センター化にあたり利用者の意向を聞いたのです。石井調査では64%がセンター化を聞いたことがないと答えています。村民の意向に沿うなら6億円の建設費はムダな投資です。



こども園大多数が反対!

ほぼ 3分の2

「こども園は良くない64%」。「こども園が良い」はわずか7%。ほぼ3分の2の方が『良くない』の意思表示をしました。『保育所の廃止はダメ!』ということでした。これが利用者の多くの意向です。これでも300人を超えるマンモスこども園をつくりますか?

こども園をつくる・根拠の村アンケート調査は保育所廃止を隠している

村でもH25年にアンケート調査を実施しています。この結果を根拠に認定こども園が必要だと結論を出して今建設に猛進しています。でもこのアンケートは「村に認定こども園ができたら利用したいと思えますか」とたずねて選択肢には「こども園を利用したい。従来の保育所のままでいい。村外の幼稚園を利用したい。その他」とあり保育所が廃止されることにはいっさい触れていません。廃止を隠したまま調査して、こども園を利用したい人が50%いたから建設する、との結論です。そんなやり方は答えた人をだます行為です。こども園建設ありき、でアンケートをつじつま合わせに利用しているだけです。石井の調査では「保育所を廃止してこども園を建設する」というのを聞いたことがない」は58%で過半数をこえています。怒りの声です。こんな調子で行った「(たったの)11人との意見交換会(議会答弁)で何を話したのでしょうか?

こんな住民無視・ごまかしの行政はあってはならないことです。

こども園の計画については保育所・幼稚園の利用者一人ひとりの意見、意向を尊重すべきです。10億円の建設費はムダな投資です。

石井としおは認定こども園計画は一旦凍結・保育園廃止はストップします。

議会答弁「白紙です」も「ごまかし

村長は認定こども園実現を公約

小高村長は6月2日の議会で「現段階では建設計画は白紙」と答弁しましたが、来年度から年度ごとの詳細な計画も決めています。白紙ではありません(予算…H29年1億5400万円、H30年3億7000万円、H31年5億5000万円)。翌日6月3日の自身の後援会だよりにも「実現に取り組む」と力強く宣言しています。白紙答弁とは裏腹です。白紙どころか八積駅周辺を「3保育所を統合し認定こども園など建設し子育てのメッカにする。」と建設へ突っ走っています。言ったことを簡単にくつがえすのは小高村長の政治スタイルです。

16億円はむだづかい

村民の望まない施設を16億円もかけて作る理由があるのでしょいか? 一体誰のために作るのでしょうか(業者?地権者?だれ?)。補助金がついても半分の8億円は村の借金です。給食調理室、保育所の改善が住民の意向です。

住民の意見を聞かずに借金の負担だけを押しつけることがあってはなりません。

せん。石井の調査ではこども園建設も給食のセンター方式移行も聞いたことがない、が過半数を大きく超えています。保護者にとつてはいずれも寝耳に水、ビックリの話しです。

石井としおは意見を聞いてともに考えて進みます。

乗り合いタクシーを実現



「年を取って車の運転が出来なくなつて買い物に困っている」「足が弱くなりどこへ行くのにも困っている」という高齢者の方が増えています。近隣の市町が実施している「乗合タクシー事業」を実現します。これは、タクシーが自宅まで送迎してくれる「買い物・役場・公民館・駅やバス停・医院」などへ出かけられる低額（他市例300〜500円）の乗合い制のタクシーです。必ず実現します。

高齢者の方の相談窓口

高齢のひとり暮らしの方や、ご夫婦で過ごされている方から生活の先行き不安の声を多く聞いています。「葬式はどこにしようか」「老人施設に入りたい」「財産処分をどうしようか」。相談も多く頂いています。

お困りの方々の相談窓口を必ず作り、不安を解消し日々を安心して暮らしていただけるようにします。



村民からの励ましの声

・石井さんが村長になって村を残してくれました。支持します。
・村を残した村長、石井さん。絶対に応援します。

毎回の石井としお通信、手配りですね。その努力に心をひかれます。

・石井さんがPTA会長や携帯電話鉄塔建設問題で住民運動をしたことは皆さん忘れていません。

・小高さんは国との太いパイプ、石井さんは村民との太いパイプですね。

・毎週火曜日に駅立ちで村の情報を教えてくれました。ありがたいです。

・二人の村長候補の演説会は片方が安法のひげの隊長で、石井さんは平和が第一の上原さんでした。私は平和が第一の上原さんや石井さんのお話しが良かったです。

・5月22日の演説会で福島の方が原発被害の实情を話してくれました。胸をしめつけられました。

・デマンドタクシー、是非実現してください。必ず実現してください。

・太いパイプがPPPを締結しようとしています。小規模農家にも農機具購入の補助大賛成です。

石井としおの決意

今の小高村政を見ますと村民に約束した公約をコロナと変えてきました。首長は村民との約束を守ることが第一です。そして村民から頂いた大切な税金を一円たりとも無駄につかわないことです。私が高級黒塗り公用車を廃止し大衆車に切り替えたことから一転し、再び600万もする高級ワンボックス公用車を購入し「動く村長室だ」と開き直っています。東京都の舛添知事と違って見えます。

村長選挙に向けての私の決意は「村民不在の村から、村民が主人公となる村を創る」ことです。

①村の予算が約50億円の中において八積駅周辺の整備43億円はあまりにもかかりすぎだし問題が多すぎます。

私は村民公募の検討委員会を設置し意見を十分にお聞きし最終的には住民投票実施も検討します。

②学校給食は自校方式を残しセンター方式はやめます。

③認定こども園も問題が多すぎるので一旦凍結し保護者、村民の意見を聞き判断します。私たちが行ったアンケート結果は圧倒的に「知らない」「反対」が多数でした。

④高齢者の方からは、家まで送迎の低額乗り合いタクシーは「是非実現してほしい」の声が圧倒的です。検討ではなく、即実施いたします。

買物などが便利になります。

石井は6つの目標をぶれずに確実に進めます。お約束します。

村民との太いパイプで「いきいき元気・ながいきの村創り」をします。

投票に行きましよう！

▼3保育所廃止認めますか？

▼給食の自校方式廃止認めますか？

▼税金での高級車購入認めますか？

▼税金のむだづかい認めますか？

▼住民不在の村政を認めますか？

村の今後四年間の行方を決める選挙です。村長が誰になるかで私達の生活が変わります。争点は明確です。村民に反対の多い『3保育所を廃止してのこども園建設、給食センター建設』などは税金の無駄づかいです。石井は村民の皆様の税金を1円たりとも無駄づかいせず、村民の幸福・くらしの向上のために使うことをお約束します。

村長選挙

6月14日告示、19日投票。

※期日前投票は、15日(水)〜18日(土)。

午前8時30分〜午後8時まで。役場1階ロビーでできます。

※投票所までの送迎を必要とする方は石井としお後援会事務所まで電話をください。

出陣式の案内

◎6月14日午前9時30分より

◎場所 石井事務所 七井土1983-1

電話36-7222

(七井土門倉プロパン・アップルパチンコ店の近く)

◎ご近所、全村民の方のご参加をお待ちしております。

わたしたちはこれからも絶対にしません！金権・買収選挙

やっぱり石井！

